

新庁舎の基本目標

1 基本構想における新庁舎整備の基本的な考え方

基本構想において、新庁舎整備の基本的な考え方について、「防災・危機管理」、「施設機能・経済性」、「環境配慮」、「文化・おもてなし」、「まちづくり」の視点で整理し、検討を行ってきました。

● 防災・危機管理

- 災害対策活動の中核拠点として十分に機能するよう、高い耐震性能と業務継続性を確保することが求められます。
- 発災時の迅速な初動体制の確立に資するとともに、国や他自治体からの支援を受ける拠点として十分に機能することが求められます。
- 発災時に様々な目的に転用できるスペースや備蓄機能を確保することが求められます。



市民の安全で安心な暮らしを確保するため、発災時には災害対策活動の中核拠点として十分に機能する市庁舎

● 施設機能・経済性

- 全市的な計画や施策の企画・立案などを担う本庁の機能と、議事機関である議会の機能の円滑な執行に資することが求められます。
- 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮するとともに、分散した事務室を集約し、狭あい解消などにより効率的な執務環境を確保することで、市民サービスの向上に資することが求められます。
- 市民に開かれた空間と、個人情報等を扱う執務空間の動線の分離などにより、セキュリティを確保することが求められます。
- 経済性が高く、建物の長寿命化やライフサイクルコストの縮減などに配慮することが求められます。



すべての利用者に配慮し、効率的な執務が可能で、経済性が高く、将来の変化に柔軟に対応できる持続可能な市庁舎

● 環境配慮

- 最新の環境配慮技術の導入や再生可能エネルギーの積極的な利用により、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減をめざします。
- 市民や企業の環境配慮実施のモデルとなることをめざします。
- CASBEE 川崎の評価で最高ランクをめざします。



地球温暖化対策の積極的な推進による、環境にやさしい市庁舎

● 文化・おもてなし

- 川崎市の文化や歩み、最先端の取組などの情報を発信することが求められます。
- 国内外からのお客様をもてなすとともに、市民が集い、憩える空間を提供することが求められます。
- デザインの配慮などにより、市民から親しみを持たれることが求められます。



川崎市の文化などの情報を発信するとともに、国内外からのお客様をもてなし、市民からも親しまれる市庁舎

● まちづくり

- 川崎駅周辺のまちづくりや他の施策と相互に連携していくことが求められます。
- 災害に強いまちづくりに資することが求められます。
- 市役所通りの街並みとの調和を図り、富士見地区を含めた回遊性の強化に資することが求められます。



今後のまちづくりや他の施策と相互に連携し、防災や人の流れに配慮した、まちづくりに資する市庁舎

2 新庁舎の基本目標

基本構想で整理した5つの基本的な考え方に基づき、新庁舎の基本目標を次のとおり定めます。

新庁舎の基本目標	
防災・危機管理	市民の安全で安心な暮らしを確保するため、発災時には災害対策活動の中核拠点として十分に機能する市庁舎
施設機能・経済性	すべての利用者に配慮し、効率的な執務が可能で、経済性が高く、将来の変化に柔軟に対応できる持続可能な市庁舎
環境配慮	地球温暖化対策の積極的な推進による、環境にやさしい市庁舎
文化・おもてなし	川崎市の文化などの情報を発信するとともに、国内外からのお客様をもてなし、市民からも親しまれる市庁舎
まちづくり	今後のまちづくりや他の施策と相互に連携し、防災や人の流れに配慮した、まちづくりに資する市庁舎